

題名：第7回日本材料学会中国支部・九州支部合同研究会「琉球-亜熱帯からの提案、環境・エネルギーの技術課題共有化セミナー」

目的：琉球亜熱帯の地理的特性を活かして、バガス、バイオマス繊維、藻類、ナノセルロース等の技術交流講演を通じて、21世紀の環境・エネルギーの技術的課題共有化をはかる。

日時：2019年4月26日（金）9：50～20：00

場所：沖縄県青年会館 〒900-0033 沖縄県那覇市久米 2-15-23 TEL：098-864-1780

URL:<http://www.okiseikan.or.jp/user.php?CMD=1154016000000>

プログラム：

1	9：50～10：10	マグネシウム合金 AZ31 の疲労き裂進展と組織変化の関係	真壁 朝敏（琉球大学工学部）
2	10：10～10：30	ゴムの力学特性の計測と超弾性モデルの検討	藤川 正毅（琉球大学工学部）
3	10：30～10：50	3次元接合体の特異応力場の簡便評価	宮崎達二郎（琉球大学工学部）
4	10：50～11：15	枝サンゴ骨格を用いた異分野融合研究の取り組み	政木 清孝（沖縄高専）
5	11：15～11：40	バガスとポリプロピレン混練による繊維強化複合材料の技術開発	柴田 信一（琉球大学工学部）
	昼食休憩		
6	13：00～13：25	エントロピー制御による新規構造材料創製の一考察：バガス炭よりナノダイヤモンドの創製の例、他	近藤 義和（京都工芸繊維大学シニアフェロー、元琉球大学教授）
7	13：25～13：50	セルロースや藻類有価物を利用したバイオプラスチックの開発－漆器調の高度な装飾性や最小のCO2排出量の追求－	位地 正年（筑波大 藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター、元 NEC）
8	13：50～14：15	セルロースファイバー充填 PP コンポジットの力学特性	永田 員也（富山県立大学工学部、ファイラー研究会会長）
	15分休憩		
9	14：30～14：55	セルロースナノファイバー充てん系複合材料の物性値予測に関する有限要素解析	真田 和昭（富山県立大学工学部）
10	14：55～15：20	世界初難燃セルロース樹脂の開発と製品適応事例	大越 雅之（山口大学客員教授、難燃材料研究会会長）
11	15：20～15：45	温水用樹脂管の耐久性評価」	西村 寛之（京都工芸繊維大学先端ファイブ科学）
12	15：45～16：10	セルロース系天然繊維の複合材料内における力学的役割	合田 公一（山口大学工学部）
13	16：30～17：30	泡盛工場の見学	-
14	18：00～20：00	懇親会	-

主催：日本材料学会九州支部（沖縄地区） / 琉球大学工学部

共催：日本材料学会中国支部・九州支部合同研究会

協賛：プラスチック成形加工学会、ファイラー研究会、難燃材料研究会

定員： 25 名

参加費（懇親会費を含む）：

正会員／賛助会員／ 法人会員	6,000 円	学生会員	2,500 円	協賛学協会員	6,000 円
非会員	10,000 円	学生非会員	2,500 円		

* 懇親会に参加しない場合：正会員／賛助会員／法人会員／協賛学協会員；1,000 円

学生；無料

申込み・問合せ：琉球大学工学部工学科

真壁朝敏、宮崎達二郎（makabe@tec.u-ryukyu.ac.jp, t-miya@tec.u-ryukyu.ac.jp）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地